



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第29号 2014.12.

「石・鉱物・化石のお宝鑑定会 2014」開催しました！

日高山脈博物館といえばこれ！今回 12 年連続 12 回目の開催を誇る、人気の定番事業です！

11月16日に『石・鉱物・化石のお宝鑑定会 2014』を開催しました。それぞれの専門家が、岩石・鉱物・化石を鑑定し、鑑定書を発行する内容で、今年で12年連続12回目の開催と、人気の高いイベントです。

例年通り、一人で10個以上の大量の岩石を持ち込み、鑑定士と岩石に関する話で盛り上がる参加者や、「他の方が持ってくる変わった石を見るのも楽しい」という参加者もあり、岩石・化石・鉱物の好きな方たちのコミュニティの場としても活用されています。このようなコミュニティの場は数が少ないので、この鑑定会の重要性が示されます。

また、一般の館内見学者からも、「何をしているのかと思い覗いたが、展示以外にもいろいろな石を見ることができて楽しい。今度は自分も参加したい。」という意見もあり、鑑定会を開催することで、さらに岩石・鉱物・化石への興味の幅を広げることができそうです。この鑑定会は、もちろん来年も開催する予定です。日程等が決定しましたら、広報やホームページ等でお知らせいたします。



日高山脈ネイチャーセミナー 2014 岩石地質講座・上級を開催しました。

日高の岩石を楽しく誰でも学ぶことができる岩石地質講座！上級は2本立てです！

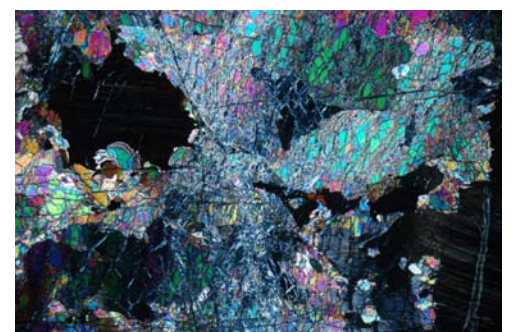
10月19日に、岩石地質講座・上級(1)を、11月9日に上級(2)をそれぞれ開催しました。上級と聞くと、難しいと思われるかもしれませんが、地質の醍醐味を楽しく味わえるように、内容を考えています。

上級(1)は、地質観察会を行ないました。当日は晴天に恵まれ、大変良い環境で観察会を開催することができました。今回は、あまり難しいところは避け、鉱物採取の時間もかねて、楽しんでいただけるような内容にしてみました。やはり、いろんな場所へ赴いて、現地の岩石に触れることができるからこそ楽しいとおっしゃっていただくこともできました。

上級(2)は、岩石薄片の作成です。岩石薄片とは、岩石を新聞紙よりも薄い0.03mmの厚さにし、顕微鏡で観察できるようにした試料のことです。専門性が高く、難しいと思われるかもしれませんが、右の写真は、参加者が作成した岩石薄片の顕微鏡写真です。この薄片はほとんど完璧に作成できており、鮮やかな色彩の世界は、かの宮沢賢治も体験した、「石の中の宇宙」を見ているようです。当館の方法では、参加者全員が失敗せず、きちんとした薄片を作成でき、岩石の新たな楽しみや美しさを実感したという感想もいただきました。ぜひ当館のネイチャーセミナーで、地質や岩石をおおいに楽しんでください！来年ももちろん開催する予定です！



上級(1)の地質観察会



上級(2)で作成した岩石薄片の写真